

HONGGO PRESS

No.43



令和2年現場代理人運営組織『克己心会』始動!!



有限会社 本郷工業

E-mail ⇒ hongo@pop.biwako.ne.jp
www.hongou-i.jp

本店

滋賀県大津市大萱1丁目6-18プレジオ9 4階
TEL: 077-545-8567 FAX: 077-545-8779

湖東営業所

滋賀県近江八幡市桜宮町206-23プレジオ5 5階
TEL: 0748-43-2117 FAX: 0748-43-2118

浜松営業所

静岡県浜松市浜北区宮口207-7
TEL: 053-580-1661 FAX: 053-580-1662

草津工事管理本部

滋賀県草津市野路東6丁目3-4プレジオ3 1階
TEL: 077-566-8200 FAX: 077-566-2234

信楽営業所

滋賀県甲賀市信楽町江田950-10
TEL: 0748-76-4477 FAX: 0748-76-4478

湖西営業所

滋賀県高島市マキノ町寺久保683-1
TEL: 0740-27-8511 FAX: 0740-27-8533



新年のご挨拶!! 伊勢神宮参拝♪

令和2年1月5日、本郷工業 Family 伊勢神宮へ行ってきました♪
今年は何と、、、大型バス2台で伊勢神宮へ!!当日は新年の挨拶も交わしながら、バスに揺られ三重県伊勢市へ到着! 例年通り外宮を参拝させていただき、内宮を参拝させていただきました。伊勢神宮では天気もよく神聖な空気に触れることもでき、本郷工業 Family 全員で昨年の感謝と本年の決意を神宮様へと伝えさせていただきました。
本郷工業は本年も感謝の気持ちを忘れることなく、邁進してまいりますので、よろしくお願いいたします!!
参拝の後は、みんなが楽しみにしていたおかげ横丁での散策タイム♪それぞれが好きなお店に寄ったり、楽しい時間となりました(^^)



祝!!新成人!!!

現場代理人補佐として毎日がんばってくれている橋本雅治くんが成人式を迎えました♪
現在、補佐統括責任者として補佐をまとめている橋本君。
新成人としての意気込みを「20歳なので、責任感をしっかり持ちがんばります!!」と宣言してくれました(*^_^*) 今後の橋本くんに注目ですね♪



左から3人目が橋本雅治

令和2年度代理人会商号 『克己心会』

令和2年、代理人会商号として『克己心会(こつきしんかい)』が発表されました。
克己心会とは・・・「自分に打ち勝ち、信念を持ち、何事にも積極的に取り組む」という意味が込められています。
新年の初出式で社員一同に発表され、社員一同心をひとつにすることができました。
影山代理人会会長率いる『克己心会』の活動は随時報告します!!お楽しみに(^^)



道普請人への活動参加を経て

～本郷工業SDGsへの取り組み～



戦後の日本の経済成長を支えた理由の一つとされているのは、道路整備です。産業の発展には欠かせない物流、人々の通勤・通学がスムーズにできるのは整備された交通機関があるからです。そして住まいの基盤となる土地加工。これらすべて、本郷工業の事業そのものです。本郷工業が行っている事業そのものが、世界の人々の生活を守り、豊かな社会を創る為にもっとも重要であることを感じ、改めて建設技術の大切さを痛感しました。SDGsに掲げられている、「地球上の誰一人として取り残さない」というテーマに賛同し、今後も本郷工業の技術で、世界の人々の生活を守れるよう、取り組んでまいります。

SDGsへの道

『自分たちの道は自分たちで直す』
道普請人とは、「開発途上国の問題は、現地に適した方法で、そこに住む人々自身で解決していく」ことの実現を目指し、そのお手伝いをするを目的とされ、「容易な技術で途上国の人々を幸せにする」ことをコンセプトに立ち上がったプロジェクトでもあります。
現在、多くの開発途上国が農業国でありながら、農村インフラ（農道、ため池等）の整備が進んでいない、といった問題があり貧困に苦しんでおられます。
取り組みとしては、エンジンニアとして適正技術の開発を進め、現地住民への技術移転、定着化を工夫しながら進めていく。



道普請人・・・

『自分たちの道は自分たちで直す』

道普請人とは、「開発途上国の問題は、現地に適した方法で、そこに住む人々自身で解決していく」ことの実現を目指し、そのお手伝いをするを目的とされ、「容易な技術で途上国の人々を幸せにする」ことをコンセプトに立ち上がったプロジェクトでもあります。

現在、多くの開発途上国が農業国でありながら、農村インフラ（農道、ため池等）の整備が進んでいない、といった問題があり貧困に苦しんでおられます。

取り組みとしては、エンジンニアとして適正技術の開発を進め、現地住民への技術移転、定着化を工夫しながら進めていく。

発起人

京都大学 木村亮教授
(NPO法人 道普請人理事長)

1993年に「ICA」専門家としてケニアに赴任して以来、10年にわたり、工学者として開発途上国の人々の幸せに貢献できないかを考え、視察を重ねた結果、土木の原点である「土」や「木」を素材として見直し、これらの有効利用と現地住民自身が実施できるように工学者として技術力を発揮し新たな工法を提案。2005年バブアニューギニアに始まり、太平洋州、アフリカ、東南アジア、中南米と世界の開発途上国各地で事業を進める。

道普請人への参加

本郷工業が本活動に参加させていただいたのは平成30年。今回参加させていただいた道普請人の活動場所はミャンマーのノットン村（ロク村）ハンピユウ村までの計2.7kmのインフラ整備でした。本事業は平成27年から始まり、令和元年12月に完成後、開通式が行われました。本郷工業の参加期間は短く一部での参加ですが、平成30年、令和元年のミャンマーでの活動の様子を報告させていただきます。
平成30年11月、初めて活動に参加するために



開通式の様子



SDGsとは？



2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

持続可能な開発目標（SDGs）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国連目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っています。SDGsは開発途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。



ミャンマーへ向かい、現地の状況を確認し、道路状況を改善すべく割栗石を敷き詰める作業や、排水を第一に考えた施工方法を考案し、現地エンジニアへ作業と共に指導、水路造りも行いました。そして一年後の令和元年12月に道路の完成するとの報告を聞き、ミャンマーへと向かい、道路の施工状況などをあらためて確認し、一箇所一箇所の補修等の作業・指導を現地エンジニアへさせていただきました。
同12月に道路の開通式も行われ、私たち本郷工業が長年培ってきた土木技術が現地の人々の生活の基盤造りに少しでも貢献できたことを改めて嬉しくも思う活動となりました。

